

# み あ さ さ づ く り



スギくならたら来るからね

家庭科で「家族と幼児の成長」について学習している9年生が、美麻地区で現在赤ちゃんを育児中の6名のお母さん、その赤ちゃんと交流し、子育てや赤ちゃんの特徴について学びました。「子育て中のお母さんにお話を聞いてみたい。」という生徒の思いに応えていただき、終始温かな雰囲気の中で交流ができました。

交流を通し、赤ちゃんってやわらかいな、かわいいな、軽いけどずっと抱っこしていると手が疲れるんだな、自分が

赤ちゃんの時はどうだったかな、など触れ合うことでしか感じることでできない感想も生徒たちから聞かれました。

交流に際し、一つ返事で協力して下さった方々。頑張ってきてよと、ママたちを送り出してくださったパパ（6名中5名のパパは美麻の卒業生です）、出産を2週間後に控えたお母さんも参加していただきました。本当にありがとうございました。

（記事作成 嶺村昌子）

QRコードを読み取ってパソコンやスマホでホームページをご覧ください。



ホームページ  
美麻Wiki



facebook



# 平成29年度 地域づくりに向けて

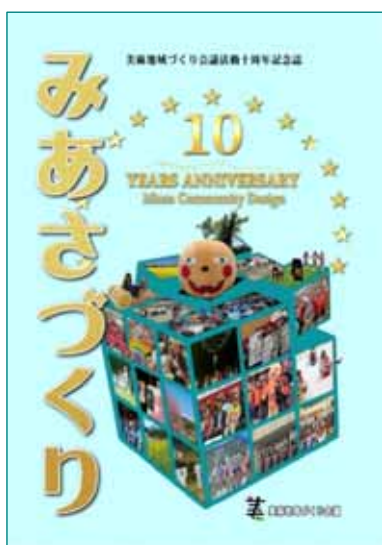
総会にて平成29年度も継続して会長となりました前川です。どうぞ今年度も引き続きよろしくお願いたします。少子高齢化、過疎化が全国的な問題となる中、地域コミュニティのあり方も大きく変化しようとしています。逆に地域を守るにはその中身がとても重要だと評価されるようになりました。驚きですが、昨年私が研修で訪問したアメリカのポートランドという町では、まずコミュニティのシステムを作りそれに共感する人たちを募集して集落をつくるなどというような地域までありました。

美麻では、地域づくり会議が行政との協働により、住民自らの力で、思いやりのある、そこに住む人たちが、今後も住み続けられる地域としていくことが重要と思います。小さな積み重ねと、継続が地域づくりには大事と言われます。これからも美麻地域の将来ビジョンを持ち、

力を合わせ共に、活気にあふれ、住みやすく、人に優しい「美麻づくり」を皆さんで進めましょう。



美麻地域づくり会議  
会長 前川浩一



## 活動10周年記念誌を発行

美麻地域づくりの活動が10年の節目迎えたことから、記念誌を発行しました。5月16日には、寄稿いただいたお礼をと合わせて、牛越大町市長を表敬訪問し、発行の報告をしました。

地域の会員と賛助会員のみなさんには、5月の文書配布などに合わせてお手元に届けさせていただけます。記念誌は変形A4版80頁、大町市との市町村合併が議論された頃から、地域づくり会議の設立、平成28年度までの活動記録のほか、大糸タイムス紙に掲載された10年間の新聞記事などを収録しています。



## コミュニティ・カレンダーをご活用ください。

2017美麻コミュニティ・カレンダーが発行となりました。今年は、『ぽかぽかランド美麻』さんより、3枚の入浴券を提供いただきました。

カレンダーにある入浴優待券を切り取ってご利用ください。期間限定ですので、ぜひご利用ください。

【お詫びと訂正】2018年1月の「美麻で有名なそばと山菜」のページ中に誤りがありました。お詫びして訂正します。

(誤) そば米を作る機械は、約800万台あった。

(正) " 約800万円だった。



入浴券は切り取ってご使用ください。



# 平成29年度総会を開催

美麻地域づくり会議の総会を4月28日に開催し、以下の内容について承認、決定をいただきました。



## 議題1 平成28年度事業報告 (主なもの)

- 4/21 地域づくり会議総会
- 5/13~20 メンドシーノ訪問
- 7/ 2 市道等道路草刈作業
- 7/17 自転車ロードレース大会
- 8/ 6 やまびこまつり参加
- 8/20 美麻社協ふれあいまつり
- 9/ 3 信濃大町子育て体感ツアー
- 9/16 敬老会
- 9/17 おやき恋訪・美麻市
- 10/22・23 美麻地区文化祭・美麻市
- 11/ 5 ふるさと美麻会交流事業
- 12/16 中部の未来創造大賞表彰式
- 3/26 先進地視察
- 5/ 8~10/31 学社融合事業
- ・コミュニティカレンダーの発行
- ・10周年記念誌の発行

## 議題2 平成28年度 決算報告 (支出)

1. 情報発信事業	890,314円
(1) 広報誌等発行事業	(300,580)
(2) 住民ディレクター事業	(109,734)
(3) 10周年記念誌発行事業	(400,000)
2. 地域づくり調査研究事業	218,976円
(1) 先進地調査研究事業	(204,976)
(2) 特産品研究事業	(14,000)
3. 交流促進事業	369,901円
(1) やまびこまつり参加事業	(110,189)
(2) 道の駅活性化・美麻市事業	(52,073)
(3) 定住促進・ふるさと交流事業	(207,639)
4. 地域づくり活動促進事業	200,978円
(1) 会員活動支援事業	(50,000)
(2) 学社融合事業	(170,978)
5. 一般管理費	11,238円
6. 予備費	16,845円
決算額	1,708,252円

## 議題3 平成29年度 事業計画

平成29年度は、継続事業を主に実施します。

## 議題4 平成29年度 予算 (支出)

1. 情報発信事業	580,000円
(1) 広報誌等発行事業	(450,000)
(2) 住民ディレクター事業	(130,000)
2. 地域づくり調査研究事業	263,000円
(1) 先進地調査研究事業	(220,000)
(2) 特産品研究事業	(43,000)
3. 交流促進事業	600,000円
(1) やまびこまつり参加事業	(130,000)
(2) 道の駅活性化・美麻市事業	(220,000)
(3) 定住促進・ふるさと交流事業	(250,000)
4. 地域づくり活動促進事業	280,000円
(1) 会員活動支援事業	(100,000)
(2) 学社融合事業	(180,000)
5. 一般管理費	80,000円
6. 予備費	90,000円
合計	1,893,000円

## 議題5 会長選出について

前川会長に継続をお願いすることになります。引き続きご協力をお願いいたします。

## 議題6 専門部会の構成について

専門部会を広報部会と事業部会の2部会としました。

## 議題7 役員選出について

会 長	前川 浩一
副 会 長	北沢 孝一 (事業部会長)
	大塚 裕明 (広報部会長)
専門部会副会長	大厩 孝 (事業部会)
	鈴木 幸 (広報部会)
会 計	江津 文人
事務局長	大厩 市郎
監 事	佐藤 修一
	若林 政直

## ぴかぴかの1年生 2名を迎えました ～美麻小中学校入学式～

美麻小中学校入学式が4月6日(木)に美麻小中学校体育館で行われました。



晴天の中、全校児童生徒、教職員、保護者、来賓のみなさんに迎えられ、温かい式が行われました。お兄さんお姉さんと手をつなぎながら体育館へ入場し、きちんと席に着き、お話しをしっかりと聞くことができました。また、2年生と一緒に「一年生になったら」を歌うことができました。これから9年間、元気いっぱい勉強や運動に頑張っていきましょう。

<新学期を迎えての生徒の感想>

・1年生が9年生と緊張しながらも楽しそうに歩いてくるのを見て、ぼくも8年前は、あのようだったのかなと思った。(8年 大西冬真)

## 新たな一步 義務教育学校

美麻小中学校長 高野 毅

4月より美麻小中学校長としてお世話になっております。よろしくお願い致します。本年度より「義務教育学校」となった本校ですが、そこに至るまでには地域の皆様の思いと様々な取り組みがありました。

本校は、平成19年頃より小中連携を進め、平成26年度には小中一貫教育学校としてスタートしました。平成28年の法改正を受け、小中一貫教育を実施する義務教育学校となり

ました。この改正により、法的にも1年生から9年生までの学びを見通し、教育課程も弾力的な編成が可能となりました。

この学校で学ぶ9年の間、学校支援隊の皆様による様々な面での支援、地域づくり会議からの援助、そして地域の皆様方全体からの日々の温かな眼差しなど、本校児童生徒はしっかりと感じ、感性豊かな思いやりのある子どもに育っていると思います。

そのようなすばらしい学校に赴任できたこと、大変ありがたく感じています。これからもご指導、ご支援よろしくお願いいたします。

## 『16名で、出発！！』 みあさ保育園入園式

雪残り、まだ桜咲かぬ4月4日。  
みあさ保育園の入園式が開かれました。

新入園児の年中1名を合わせ、年長4名、年中4名、年少5名、未満児2名の15名でのスタートです。(未満児1名が新たに入園し現在は16名です。) 青い通園服とカラー帽に名札をつけて、1つお兄さん、お姉さんになった、ぴかぴかの子どもたち。元気いっぱいチューリップの歌を響かせました。

年少から年長までの異年齢混合クラスは、去年の年長さん不在の一年を経て、13人の子どもたちへと一気にパワーアップ。活気にあふれてのスタートとなりました。

お友だちと仲良く、元気いっぱいたくさん遊んで、時々けんかしちゃったり、我慢しなきゃいけない時もあるかもしれないけれど、それ

以上の分け合う喜びや笑い合う楽しさを栄養に、豊かな美麻の自然の中でぐんぐん育っていただきたいと思います。

地域の皆さまの温かいご支援今後ともよろしくお願い申し上げます。

(保育園保護者会 田村佳子)



# 北アルプス国際芸術祭 2017

山山山  
山山山  
山山山  
北アルプス  
国際芸術祭  
JAPAN ALPS  
ART FESTIVAL  
2017

2017.6.4-7.30

大町市は、北アルプスの山々を映す仁科三湖やダム湖があり、豊富な温泉にも恵まれた地域です。

しかし、近年では日本創成会議が発表した消滅可能性都市に上がるほど、過疎高齢化も深刻化しています。

「北アルプス国際芸術祭2017 ～信濃大町 食とアートの廻廊～」は、総合ディレクターに北川フラム氏を迎え、土地固有の生活文化を表現する「食」と、地域の魅力を再発見する「アート」の力によって、北アル

プス山麓の地域資源を世界へ発信することを目指します。

開催日程：

2017年6月4日（日）～7月30日（日）

北アルプス国際芸術祭ホームページ

<http://shinano-omachi.jp/>

作品は市内各所に36作品あり、美麻地区となじみの深い中山高原の作品をご紹介します。

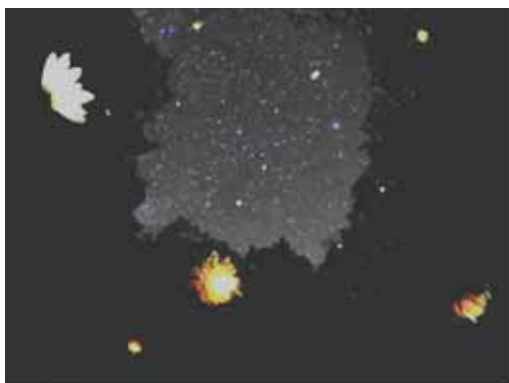
## ～中山高原の夜空に星と花～

作品名 花咲く星に

東山エリア 中山高原

鑑賞日時 毎週金・土・祝前日と6月4日

20:00～21:30



《作品イメージ》

夜空輝く中山高原にて、星と硬質で無機質なLEDの光に照らされた花が空一面に散りばめられる作品となっており、作品は壮大で鑑賞した方を感動へと導きます。会期中の必見作品としてください。

また、作家の青島さんは美麻地区とも縁がある方であり、青島さんに質問をしてきました。

Q：出身は？

A：1980年 静岡県生まれです。以前にふたえ

市民農園を借りていたことがあり美麻地区の事は少しですが知っています。現在は市内に住んでいます。

Q：今回の作品会場を中山高原としたのは？

A：作品のイメージが一致する場所を市内各所にて探し、中山高原がピタッときました。

Q：作品のコンセプトを教えてください。

A：LEDが仕込まれた花は、生の花で、開場中はゆっくりと動きます。それぞれの花と星々が歓喜をしているような体験となり、生きている喜びへと繋げ、生まれてきたことへの喜びを共感する作品にしたいと考えています。

Q：壮大な作品であるため作成は大変だと思いますが、会期に間に合いますか？

A：多くの花を作成する必要があるのですが、会期前後を問わずボランティアさんと交流を含め応援いただければ嬉しいです。

青島さん、作品づくり頑張ってください。



製作現場で作品の構想についてお話を聞きました。

一辺160mの空中に何十本もの糸が張られ、無数の花が夜空をに映えるとのことでした。

料金 一般 前売 2,000円／当日 2,500円

高校生 前売 1,000円／当日 1,500円

小中学生 前売 300円／当日 500円

※前売券：6月3日（土）までの売価格

／当日券：6月4日（日）以降の販売価格

■ボランティアサポーターのご案内

<http://shinano-omachi.jp/support/volunteer-activities/>

をご覧ください。



# 水しぶきのように 輝く子どもの笑顔

(1、2年生遠足)

1、2年生の目的地は、二重親水公園。お家の方の心のこもったお弁当を食べた後、待ちに待った川遊びです。水に足を浸けた途端、子どもたちの弾けるような笑顔と歓声が上がりました。首まで水につかり、ズボンに穴が開くほど堰堤を滑り降りて楽し

む姿に、子どもたち本来の逞しい姿を見たように思いました。ボランティアのみなさんにも助けられ、美麻の春を体感した一日でした。

(文責 岡江 都志勇)

## 善光寺峯街道 湯の海～たばこ岩～千見本村

(5月12日 晴天の中3、4年初の遠足地)

高台から臨む山々の眺望。古道から各地区へとつながっていく枝道。山菜や山野草。

鳥の鳴き声、まむしも出没。自然にどっぷりひたりこみ、そしてお待ちかねの化石とり。山頂に貝の化石にびっくり。下山後はポカランにて入浴。今年から地域作りカレンダーに添付された無料入浴券を活用させていただき、公衆道徳の勉強。宮沢館長はじめ、支援隊の方々に支えられ大変有意義な遠足となりました。



# 身体を動かすと脈拍が上がるんだ!



第8回目の元気アップ講演会が5月1日に行われました。毎年お願いしている東海大学体育学部教授の内田匡輔先生と内田ゼミの学生さん（8名）に来ていただき、楽しく持久力がつく運動を全校でチャレンジしました。今まではホップ・ステップ・ジャンプに分けて、それぞれの発達段階にあった内容を2時間ずつお願いしていたのですが今年は駅伝を体験しようと思い全校で取り組みました。

- ・心拍数走 5分間で心拍数を変化させる活動をかんがえる。
- ・時間びったり走 20mを（18秒・12秒・12秒・10秒・8秒）で走る。
- ・校内駅伝 なかよし班対抗 を行いました。今回の講演で、心臓の大きさは自分の左手の拳と同じ大きさで学年によって手の大きさが違う

のと一緒に心臓の大きさも違うこと、心臓は筋肉でできているから鍛える事で強くなり体中に血液を送る力も強くなるということ、中学・高校時代にグンと成長する。だからこそ毎日の運動の積み重ねが大切ということを教わりました。

子ども達も自分の身体の動きと、心臓の動きのつながりが数値で知ることが出来たことが印象深かったようで、心拍数を意識して身体を動かしたことへの感動や驚きの声がかかれた。この講演会は今年新たに決まったなかよし班での初の活動でしたが、互いに脈を測ったり、励まし合ったりで仲良くなれた一日でした。

元気アップ係 武田 彰代

## 「自分自身との対話」 —美術の日—

7・8・9年の美術の日が5月12日（金）に行われました。普段何気なく見ている美麻の景色、けれどじっと見ていると「特別な景色」が見えてきます。自分だけの美麻を表現するために、一人一人目標を抱いて制作を行いました。



自分だけの美麻を表現するために、自分自身と対話しながら制作に打ち込む姿が見られました。

子どもたちの作品は梨の木祭にて展示する予定です。是非ご覧ください。



「今日はとてもよく晴れたから、遠くの山がきれいに見える。ここ（学校）から見える山を大切に描きたい。」  
(9年生)

「木は全部同じだと思っていたけれど、よく見ると一本一本色が違うなあ。横のしまだったり縦のしまだったりもする。描き分けるにはどうしたらいいかなあ。」(7年生)

「校舎の上にある美麻の空を大切に描きたい。水色だけじゃなくて、赤色や黄色も入れて、暖かさを感じられるようにしようかな。」(8年生)



## 家庭科で赤ちゃんお母さんと交流学習 (9年生)

“5月2日のコミュニティルームはいつもと違いました。パイプ椅子と机がなく、こたつ布団に毛布、菓子箱には味のない口どけのいい乳幼児用のお菓子、そして美麻コミュニティスクール初の最年少ボランティアさんが7名とのお母さんがおしゃべりしながら9年生のお迎えを待っていました。

交流はお母さんと赤ちゃん、生徒3名で一つのグループになり日頃の子育てや赤ちゃんの様子についてお話を伺いました。質問が途絶えたとお母さんからも話題を提供してもらった場面もありました。その間も赤ちゃんたちは生徒たちの周りを、よろよろ歩いたり、笑って見せたり、ペンをとろうとしたりじっとしていません。そんな赤ちゃんの様子を見て遊んであげたり、危なくないように気遣っている生徒たちの姿も見られました。日常的に赤ちゃんとの接点のない生徒たちがほとんどでしたがその場に臨機応変に対応できる生徒たちに感心しました。

生徒の質問には、赤ちゃんの安全や遊び食事についてなどの質問が多くありました。赤ちゃんから目が離せないこと、大人と違う食

事に日々気を付けている。たまにはつかれてしまう、でも子供がとつてもかわいくて大切だから頑張れる、親になって変わった自分がある、という話も聞くことができました。交流を通し赤ちゃんってやわらかいな、かわいいな、軽いけどずっと抱っこしていると手が疲れるんだな、自分が赤ちゃんの時はどうだったかな、など触れ合うことでしか感じることでできない感想も生徒たちから聞かれました。今回の交流を通して、生徒たちにとってこれまでの自分、これからの自分を考えるいい機会になったのではと感じました。

交流に際し、一つ返事で協力してくださった方々。頑張ってきていよと、ママたちを送り出してくださったパパ(6名中5名のパパは美麻の卒業生です)、出産を2週間後に控えたお母さんも参加していただきました。本当にありがとうございました。

交流の閉めには、「大きくなったら来るからね」と、入学に胸を膨らませて元気よく帰っていく5歳の女の子の姿に、あー繋がってるな〜と実感した日でした。(松下京子)

## 美麻市民科(総合的な学習の時間)スタート

総合的な学習の時間「美麻市民科」が5月12日(金)にスタートしました。今年度も長野大学の禹先生や学校支援隊の方たちに来ていただき、5時間目には禹先生から「地域をいかす、地域との協働」についての講義を受けました。6時間目には各学年(グループ)のテーマ決めや活動内容決めにアドバイスをもらいました。

また、4月11日(火)には、9年生のフリーペーパー班が美麻地域づくり会議でプレゼンテーションを行い、支援をいただけることになりました。

<生徒の感想>

・会議で私たちの案を通すことになったから、3人で協力して考えてきました。日頃、人前で話すことはなかなかないことだし、予想してなかった質問があってそれに答えることが難しかったけど、良い経験になりました。

(9年 酒井恵菜)

・大人の人たちが私たちの話に真剣に耳を傾けてくれるとともに、協力してくれる姿がとても嬉しかったです。(9年 小山あさ)

地域の皆様、市民科の指導にご協力ください。



### 平成29年度「美麻市民科」テーマ

- 5年生 8人で力を合わせて米作り  
できるだけ昔のやり方で、
- 6年生 美麻の魅力発見隊!  
オリジナルの美麻マップを作成する。
- 7年生 美麻の地域を知る(仮)  
美麻の地域を調査し、発表する
- 8年生 美麻の花豆を特産品にする(2年計画)  
「銀座長野とばかランへの出品をめざす」
- 9年生 ① CM大賞に向けて  
② フリーペーパー 美麻の魅力を発信





## 先進地視察研修（3/26）報告 住民運営の無償運送バス「菊名おでかけバス」

高齢化社会が進むにつれ公共交通のきめ細かな整備を望む声が上がっていますが、道路環境、採算面より非常に高い障壁があり進まないのも事実であります。しかし、「誰もバスを走らせてくれないのなら、自分たちで走らせてしまおう」と考え行動し住民だけで「バス」を走らせている人達が横浜市港北区菊名地区にいるとの事でしたので活動内容を勉強しようと出かけて見ました。



このエリアは、坂道が多く尚且つ道幅も狭い地区とのことでしたが、実際に運行バスに乗車させて頂きますと道幅が狭くワンボックスカーでのすれ違いが大変難しい所でありまた坂道が多く電動自転車が必要と思われる様な環境でありました。

この様な地区ですが一般的にJRや東急の駅に近い住宅街である事から行政からの支援が認められなかったとのこと。

そこで高齢者の外出支援を目的に活動を開始し運行は、一回/週（火曜日）で5便、菊名駅の西口住宅街からスーパー、区役所、図書館へ行くことが出来るルートで、乗降は途中にある2

5箇所の「バス停」にて実施。路線バスとの違いは、乗降補助の介護者が乗っていること、年間1000円の会費を払った「会員」のみが利用できる事である。

会員は坂の上に住む高齢者が多いのですが、最近では乳児を持つ母親が目立って来たとのこと。

実行面での苦労はボランティアの運転者・介護者の確保とスケジュールリングとの事でした。

兎に角自前で「バス」を走らせようとし実行した熱意とパワーに感心したしだいである。

（記事作成 若林政直）

バスは、地域の方が自家用車を提供してくれているそうです。



運行ルートやバス停の位置も利用しやすいよう細かく決められていました。

お話をうかがう中で、地域を良くしたいと思う人達の気持ちが運行を支えていることが良く分かりました。



## 美麻地域づくり会議「協賛者募集」

平成29年度に地域づくり会議の活動に協賛いただける団体等を募集します。

協賛金 5,000円/一口より

協賛いただいた方には、次のような特典もご用意しています。

1. ホームページでの協賛者の紹介（希望者）
2. 美麻Wiki内に協賛者ページの開設
3. ホームページの作成及び更新支援

お申し込み、お問い合わせは事務局までお申し込み、お問い合わせは事務局まで

# 2017 メンドシーノ 交流情報



姉妹都市アメリカ合衆国カリフォルニア州メンドシーノから28名(生徒17名、大人8名、芸術家3名)の訪問団が来日します。大勢の皆さんのご参加をお願いします。

### 訪問団の日程

- 6/30 国内見学の後、美麻に到着～「歓迎会」
- 7/1 自由日 大人：麻倉でパーティー(昼)
- 7/2 自由日
- 7/3 美麻小中学校で学校交流  
みあさ保育園で交流  
大人：わちがいで食事会(夜)
- 7/4 市役所訪問～「交流会」
- 7/5 長野市内見学～帰国

### 交流会のお知らせ

メンドシーノ訪問団と地域の皆さんとの親睦を深めるため交流会が開催されます。皆さんで盛り上げましょう。

日時 7月4日(火) 午後6時から

場所 青具ふれあいセンター

参加費 パーティー券をお買い求めください。

- 前売り券 大人：1,500円  
子供：500円
- 当日券 大人：2,000円  
子供：800円

## 記念Tシャツで交流事業を盛り上げよう!



メンドシーノ交流事業では毎回記念Tシャツを製作販売します。各戸に配布された申込用紙に必要事項を記入し右記事務局へお申し込みください。Tシャツの販売代金の一部は交流事業に充てられます。たくさんのお申し込みお待ちしております。

【価格】 各サイズとも Tシャツ 2,000円  
ポロシャツ 2,500円

【第1次申込期限】 6月9日(金)

【最終申込期限】 6月26日(月)

※引き渡しは代金引換えになります。

歓迎会に間に合うよう申し込またい方は第1次申込期限までに、交流会までにとの方は最終申込期限までにお申し込みください。

【申込先】メンドシーノ交流実行委員会  
事務局(美麻支所 電話29-2311)

## 美麻支所・美麻公民館から 夜間管理体制変更のお知らせ

美麻支所・美麻公民館では、公民館での団体などの行事・会議のある日のみ夜間管理を行なう体制になりました。この時間帯の電話でのお問い合わせは、夜間管理人の有無を問わず市役所本庁舎に転送されます。

また、美麻公民館は、利用日の1週間前までに、美麻テニスコート、美麻トレーニングセンター等体育施設の利用は、利用日の前日までに公民館へ

予約する必要があります。体育施設の鍵は業務時間内に公民館で受け取ってください。詳しくは支所又は公民館へお問い合わせください。

なお、土・日・祝日の午前8時30分～午後5時15分までの日直業務は通常どおり行っています。ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

【美麻支所・公民館：電話29-2311】

■ 編集・発行 美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻11810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・ 電子メール info@miasa.info